



市の木・花・シンボルカラーが決まりました。

市の木

カエデ (モミジ)



旧前原市の木としても広く市民に親しまれているカエデ。市内には、県指定天然記念物である大悲王院の楓(雷山千如寺)、萬龍楓(白糸の滝をはじめ、浮嶽の大楓(二丈吉井)など、全国に誇れる有名なカエデが多くあります。

夏には鮮やかな緑、秋には深紅の葉が風に揺れ、散った後にも見事なカエデのじゅうたんが広がります。最も四季を感じさせる樹木として、見る人を魅了します。



アドバイザー
平野照実さん
(環境省自然公園指導員)

カエデ(モミジ)は、県内外の多くの人をひきつける雷山千如寺大悲王院の楓や白糸の萬龍楓をはじめ、とても馴染み深い木。いろいろな場所に植樹して、楽しんでほしいと思います。

一方、ハマボウは、雷山川下流域(通称泉川流域)や松末羅漢川など限られた場所にしか自生していない、希少な花。黄色のかわいい花を咲かせる一日花として親しまれています。生態系を守るため、河川への植樹を避け、ご家庭で園芸用として観賞してもらえればと思います。

マンホールの蓋や名刺など、市章と同じようにシンボリックに使ってPRしていただけたら嬉しいですね。

選考委員一覧

イメージソング選考委員

- 木村 英子 (糸島市小学校教科等研究協議会音楽部会)
- 坂本 美紀子 (糸島市中学校教科等研究協議会音楽部会)
- 本多 哲郎 (唄人羽)
- 安岡 信一 (唄人羽)
- 吉村 真理子 (いとしまブランド推進委員)



(上段左から) 安岡さん、本多さん
(下段左から) 坂本さん、木村さん、吉村さん

イメージキャラクター・木・花・シンボルカラー選考委員 (いとしまブランド推進委員)

- 小島 祐作 (プティール倶楽部経営者)
- 佐伯 謙吾 (九州大学芸術工学研究院 助教)
- 末松 博司 (糸島酒みせ ちきゅう屋店長)
- 清家 麻妃 (カフェ西洋館主)
- 副島 史絵 (ろうそく工房クレアーレ経営者)
- 高橋 徹郎 (タレント スター高橋)
- 林 憲治 (カレント経営者)
- 平野 照実 (環境省自然公園指導員)
- 平野 利明 (糸島農業協同組合 総合企画課長)
- 福田 祝子 (イラストレーター)
- 山本 澄江 (前原市商工会 振興課長)
- 吉村 耕治 (元糸島市観光協会)
- 吉村 寿敏 (糸島漁業協同組合 参事)
- 吉村 真理子 (フリーライター)

(五十音順)

泉川(雷山川の下流域)、松末羅漢川などに自生する、高さ1〜4mの落葉低木。7月〜8月に黄色い可憐な花を咲かせます。泉川の群落地は全長約1.7km 総本数約730本で、九州でも有数の規模。現在、絶滅危惧種に指定されています。自然環境保護ボランティア団体「泉川はまぼうの会」により、定期的に草刈りやごみ拾いが、また7月には「はまぼう夢まつり」が開催されています。

市の花

ハマボウ



可憐でかわいい、ハマボウの花。泉川のほとりを何度も何度も行ったり来たりしているうちに、「あなたが好きと云ったふるさとにはここに」というフレーズが浮かびました。初恋の人・幼なじみ・子ども…ふる里を離れていった人が帰って来る、その喜びを歌にした「はまぼうの花」。今では私のオリジナル曲の中で最もたいせつな曲となり、ライブのたびに歌っています。そんな思い入れのあるハマボウが、このたび糸島市の花に選ばれたことを、とてもうれしく思います。偶然にも私の名前はShima。これからも「はまぼうの花」を歌い続けていきます。



泉川自然博物館「はまぼう夢のさと」イメージソングを唄う
司麻 Shimaさん
(シャンソン・タンゴ歌手)

市のシンボルカラーは
黄色

明るい未来の色、元氣が出る色、幸せの色、やさしい・あたたかい色、ハマボウの色…。

たくさんの方が抱く黄色のイメージはどれも前向きなもの。シンボルカラー・黄色のように、みなさんと糸島市を元気に発展させていきましょう。

愛して、
そして活用して

テレビドラマの主題歌に出てきそうなイメージソング。糸島の歴史・文化、豊かな自然、そして人々の絆の深さをひしひしと感じる歌です。地域や学校でカッコよく歌ってください。

イメージキャラクターはまさかの竜。たくさんの方の魚や野菜を担いでやって来そうな迫力ある作品が誕生しました。ゆるいのか、ゆるくないのかといったら…。お任せします。

市の木と花は糸島の特徴とみなさんの思いがたつぷり。黄色は元氣、幸せ、やさしい…糸島カラーにぴったりです。

こんな糸島のシンボルたちがみなさんの郷土愛を育み、糸島を盛り上げるきっかけをつくってくれればと願っています。



糸島市経営企画課
岡 祐輔 主任